

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

2021～22 年度年度

国際ロータリー会長 Shekhar Mehta



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第3例会 2021.7.26 (#2314)

オンライン例会

会員の自己紹介

飯嶋・秋山・垣見・金田・加賀・守屋・鈴木
住吉・須藤・佐藤会員

前回の報告

第2例会 2021.7.12 (#2313)

オンライン例会

職業奉仕 藤田進太郎委員長
社会奉仕 内田祐輔委員長
国際奉仕 吉田弘和委員長
青少年 木寅雅之委員長

会長報告

- みなさまこんにちは。新型ウィルスによる蔓延防止のため、緊急事態宣言が発出されてしまいました。8/2はオンライン例会と致します。ワクチンが速く多くの人が接種出来ることを願っています。
- 本日は、5大奉仕委員長からお話をさせていただきます。
- 先日の熱海豪雨災害に対して、ガバナーより義援金のおねがいがありました。にこにこボックスから5万円を送金させて頂こうと思っています。
- にこにこボックスは、皆様にとっていろいろなできごとや、お祝い事、昇進、新築、病氣平癒、遅刻欠席のおわび、悲しい事、などなど、なにかあったときにお寄せ頂くものです。災害義援金、各種奉仕活動の原資として拠出してあります。どうぞ、どんなことでもひとこと添えてご寄付下さい。

幹事報告

- 今週末から、オリンピックが開催されます。多くのアスリートの活躍を期待しましょう
- 来週19日は、祝日の週のため、休会です。次回は26日、オンライン例会で、自己紹介させていただきます。
- 地区の主催で、Zoomの使い方のセミナーが開かれています。今後は15日、29日、8/5 何も18:00～20:00です。とてもよく説明されて居ますので、興味のあるかたは、事務局までお問い合わせ下さい。
- ロータリーのロゴ入りのポロシャツが届いております。早く欲しいというかたは、お申し出ください。



次回予告

第4回例会 2021.8.2 (#2315)

オンライン例会

会員の皆様の自己紹介

8月9日、16日は休会です。

「もっと元気なクラブになるためのワークショップ」

「職業奉仕の実践その1」のご案内

今期は、今まで地区委員会が主催していた委員長会議やセミナーを整理し、全10回のワークショップとして計画的に実施いたします。

その第二回目として、8月は職業奉仕のワークショップを行います。職業奉仕委員や役員の方だけではなく、会員の皆様の参加を歓迎いたします。

記

日時2021年8月20日(金)15:00～16:30

場所ZOOMで行います。

<https://zoom.us/j/94681015437?pwd=Y0JoMnYzODVKajRCbTMrS1p3UE>

Nudz09 ミーティングID: 946 8101 5437 パスコード: 2580

講師: 若林卯兵衛氏(京都洛北RC創立会員 若林ガバナーの実兄)

“京都市人——こだわりのDNA”

ポリオ根絶への道

ポリオ根絶地域コーディネーター 益田西 RC

松本 祐二氏 (5/31 卓話 須藤会員紹介)



ポリオに関する歴史上最古の記録は、紀元前 1500 年ごろのエジプト王朝時代にさかのぼり、右足が萎縮した僧を描いた石碑が今も残っています。1905 年にはスウェーデンの内科医が、ポリオは人から人に感染し、無症状でもポリオに罹患している可能性があることを指摘し、

1908 年にはウィーンの医師 2 人が、ポリオはウイルス感染による病気であると発表しました。1916 年にはニューヨークでポリオが大流行し、2000 人以上が死亡しましたが、1955 年に初めてワクチンの開発に成功しました。当初は不活化したポリオウイルスを注射することで感染を食い止められると考えられていましたが、精度が低かったために感染は収まらず、1960 年にセービン博士が開発した経口ポリオワクチン(生ワクチン)が普及し、ポリオの流行は終息しました。

ロータリークラブのポリオ根絶活動は 1979 年、フィリピンの子どもたちのためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトから始まりました。そして日本のロータリーによる根絶活動は、麹町ロータリークラブの山田彝(つね)さん、峰英二さんの 2 人が南インドでワクチン供与をしたことに始まります。

1985 年にはポリオプラスが開始され、1988 年には国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を立ち上げました。1994 年にはアメリカ大陸からポリオが根絶され、当時は 2000 年にはポリオを地球上から根絶できると考えられていました。しかし、根絶はいまだできていません。天然痘は冷戦時代に根絶されましたが、ポリオは第三世界の台頭や相次ぐ民族紛争で世界が不安定となり、かつ人口も飛躍的に増えたため、ワクチンを行き渡らせることができなくなったのです。

2009 年、ポリオ根絶に対するロータリーからの寄付総額が 8 億ドルに達し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が補助金を提供して GPEI に参加しました。2011 年にはロータリーの寄付総額が 10 億ドルを超え、2014 年にインドでの根絶が達成され、東南アジア地域のポリオ根絶が認定されました。2020 年にはナイジェリアでの根絶が宣言され、ポリオの常在国はアフガニスタンとパキスタンの 2 カ国となりました。

ポリオは本当に根絶可能なのかと思われるかもしれませんが、可能です。ポリオウイルスは人体でしか増殖できず、基本的に変異がなく、そしてワクチン投与という有効な予防法があるからです。しかし、乗り越えなければならぬ課題もあります。一つ目に、政治的な安定化です。護衛がなければワクチン投与ができない国もあります。

二つ目に、2 次感染の可能性のある生ワクチンから安全な不活化ワクチンへの変更です。

三つ目に、資金不足です。2023 年までにあと 23 億ドルが必要といわれています。

生ワクチンは不活化ワクチンと比べ、安価で接種技術も要らず、免疫も獲得しやすいという点がありますが、2020 年には生ワクチンによって 1088 症例ものポリオ発症が確認されるという問題も抱えています。しかし、大流行が起こりそうな地域では生ワクチンを使わなければなりませんし、予算不足で生ワクチンしか接種できない国もあります。

現在日本では、子どもは生後 54 カ月までに 4 回の予防接種が必要と法で定められており、約 95%は接種を受けています。そのための年間約 175 億円という費用は市区町村の負担です。しかし、ポリオが根絶すれば各地区の予算に余裕が生じ、地域活動の推進にもつながります。日本だけを見てもそれだけの効果があるわけです。

今年度の日本ロータリーの目標は 1 人当たり年間 30 ドルの寄付です。また、各地区の DDF の 20%をポリオに寄贈することも世界的目標として求められています。

また、ロータリアンはさまざまな活動が可能です。アドボカシー活動で政治家に働き掛けたり、クラブ奉仕活動をしたりするだけでなく、募金箱を設置し、窓口などに立って寄付をお願いすれば、意外と集まるものです。他人や社会のために活動したり、他人に感謝されたりすると、人は幸せを感じます。ポリオを通してロータリーライフを楽しんでいただければと思います。

クラブだより No.3

緊急事態宣言の下、オンライン例会が続きます。

8 月 9 日は休日、8 月 16 日は夏休みとして休会です。

8 月 23 日からは、対面での例会の予定です。

皆様には、お元気で過ごして下さい。



東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	莊村 明彦	FAX:03-3263-9122
幹事	福田 仁司	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	近藤 貴俊	URL: www.koujimachi-rc.jp